

フライフータルト

本土大手と 業務提携

介護の質向上を目指す

介護付き有料老人ホーム「美里の杜 カシータ」を運営するトータルライフサポート研究所（沖縄市、宮里啓社長）は、介護事業を手掛けるロングライフホームディング（大阪市・遠藤正一社長）と資本業務提携した。宮里社長、ロングライフの北村政美副社長が13日、発表した。

ロングライフは関西を中心に全国で有料老人ホーム20施設、130の在宅介護事業所を展開。中国などアジア進出も予定している。宮里社長は、「運営ノウハウの習得や職員間の研修

などを通し、サービスの質、内容を充実させ、市場開拓を図っていく。沖縄を介護ツーリズムの拠点として成長させたい」と述べた。

トータルライフは比較的安い価格帯で「笑顔になれる家」をコンセプトに置く。カシータの60人の入居率は開業以来満室が続いているという。ロングライフとは以前から交流があったが、ロングライフが富裕層を対象にした主要業務に加え、中間所得層の開拓を目指す新規事業を計画、トータルライフと方向性が一致

した。

ロングライフには東日本大震災以降、沖縄への長期滞在や移住の問い合わせが増加。北村氏は「どこでも同レベルのサービスの提供があるという安心感が入居者や家族にとっては大事。ネットワークの構築で幅広い要望に応えられる。沖縄の美しい自然を求める声は多い」と提携による効果を説明した。

ロングライフはトータルライフに345万円を出資し、北村氏が取締役に就いた。今後相互の顧客の紹介や移住などを手掛ける。トータルライフは来春、うるま市に県内2棟目の介護付き有料老人ホームの開業を予定。宮里社長は「提携により他との差別化を図るとともに、県内業界のレベルアップにも寄与したい」と話した。